

ダイワ日本企業外債ファンドS
(為替ヘッジあり／
部分為替ヘッジあり)
2016-12

運用報告書（全体版）
第6期

（決算日 2019年9月10日）
（作成対象期間 2019年3月12日～2019年9月10日）

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、日系企業が発行する外貨建ての社債等に投資することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
（営業日の9：00～17：00）

<https://www.daiwa-am.co.jp/> <3638>
<3639>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／海外／債券		
信託期間	約6年8カ月間（2016年12月30日～2023年9月8日）		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12の受益証券	
	ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、元本超過額または経費控除後の配当等収益のうちいずれか多い額とし、原則として、経費控除後の配当等収益の中から分配することをめざします。ただし、基準価額の水準等を勘案し、元本超過額も含めて分配を行なうことがあります。なお、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

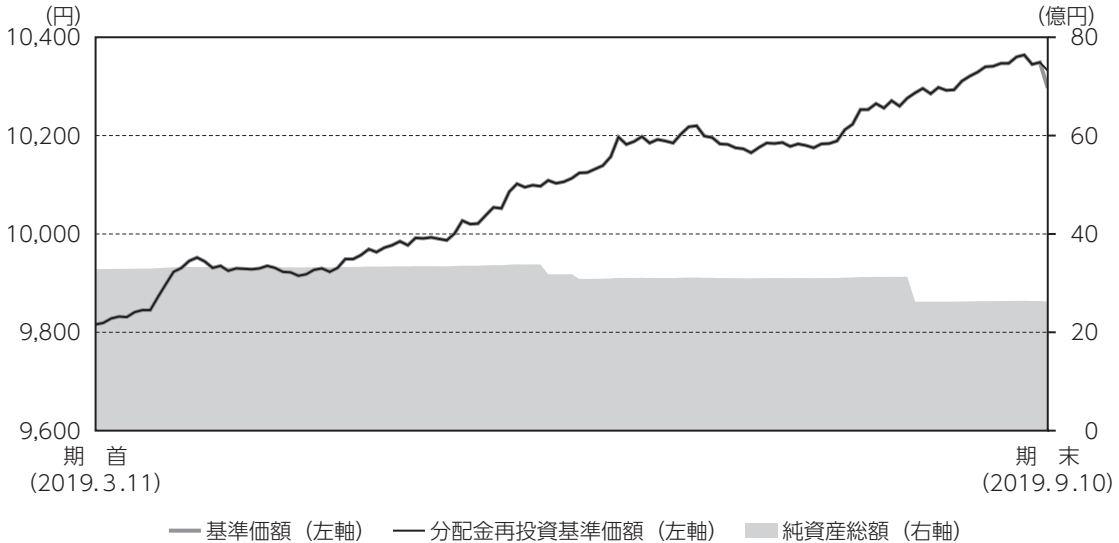
決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 利 回 り	公 社 債 組 入 比 率	債券先物 比 率	元 本 残 存 率
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 額	期 中 騰 落 率				
設 定 (2016年12月30日)	円 10,000	円 －	円 －	% －	% －	% －	% －	% 100.0
1 期末 (2017年 3 月10日)	9,963	30	△ 7	△0.1	△0.4	93.7	－	100.0
2 期末 (2017年 9 月11日)	10,317	100	454	4.6	6.4	93.7	－	97.1
3 期末 (2018年 3 月12日)	9,887	80	△350	△3.4	0.8	92.3	－	97.1
4 期末 (2018年 9 月10日)	9,721	60	△106	△1.1	△0.1	98.2	－	95.7
5 期末 (2019年 3 月11日)	9,816	35	130	1.3	0.6	96.7	－	95.7
6 期末 (2019年 9 月10日)	10,297	35	516	5.3	2.4	96.7	－	72.8

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。
(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。
(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■基準価額・騰落率

期 首： 9,816円
 期 末：10,297円（分配金35円）
 騰落率：5.3%（分配金込み）

■基準価額の主な変動要因

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016-12」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行った結果、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）を反映し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ日本企業外債ファンドS（為替ヘッジあり）2016－12

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率		
(期首) 2019年3月11日	円	%	%	%
	9,816	－	96.7	－
3月末	9,952	1.4	94.6	－
4月末	9,949	1.4	96.9	－
5月末	10,052	2.4	94.8	－
6月末	10,192	3.8	96.4	－
7月末	10,184	3.7	97.1	－
8月末	10,341	5.3	95.5	－
(期末) 2019年9月10日	10,332	5.3	96.7	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.3.12～2019.9.10)

■米国債券市況

米国債券市場では、国債や社債の金利が低下しました。

当作成期首より、FOMC（米国連邦公開市場委員会）において2019年内は利上げを行わない見通しであると示されたことなどを受けて、国債金利は低下傾向となりました。5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことやFRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げの実施などを背景に、国債金利の低下が続きました。

米ドル建ての社債については、FRBの緩和的なスタンスなどを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小圧力が強まる展開となりました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2019.3.12～2019.9.10)

■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は35円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額84,500,028円が、経費控除後の配当等収益42,492,052円を超過しているため、純資産額の元本超過額84,500,028円（1万口当り331.58円）を分配対象額として、うち8,919,360円（1万口当り35円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.3.12～2019.9.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	27円	0.270%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,099円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(10)	(0.094)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	28	0.280	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

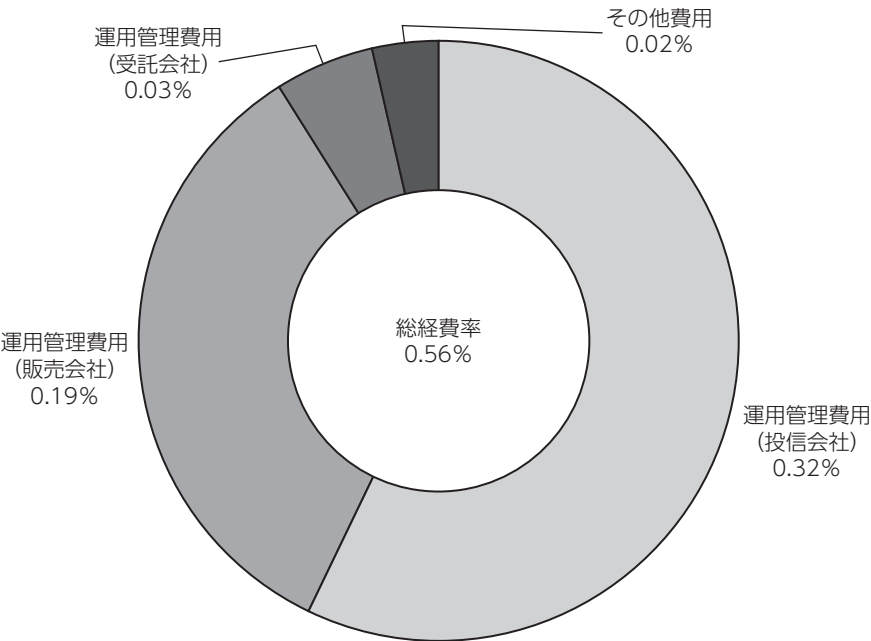
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.56%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	23,685	25,000	707,360	738,100

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	3,161,557	2,477,882	2,638,697

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月10日現在

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
	千円	%
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	2,638,697	97.8
コール・ローン等、その他	58,202	2.2
投資信託財産総額	2,696,900	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.45円です。

(注3) ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12において、当期末における外貨建純資産（2,822,782千円）の投資信託財産総額（2,891,213千円）に対する比率は、97.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	5,194,255,076円
コール・ローン等	58,202,973
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12(評価額)	2,638,697,367
未収入金	2,497,354,736
(B) 負債	2,570,285,727
未払金	2,554,277,580
未払収益分配金	8,919,360
未払信託報酬	6,958,643
その他未払費用	130,144
(C) 純資産総額(A - B)	2,623,969,349
元本	2,548,388,681
次期繰越損益金	75,580,668
(D) 受益権総口数	2,548,388,681口
1万口当り基準価額(C / D)	10,297円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,297円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月12日 至2019年9月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 16,176円
支払利息	△ 16,176
(B) 有価証券売買損益	95,965,855
売買益	225,815,232
売買損	△ 129,849,377
(C) 有価証券評価差損益	75,732,347
(D) 信託報酬等	△ 8,650,780
(E) 当期損益金(A + B + C + D)	163,031,246
(F) 前期繰越損益金	△ 61,698,378
(G) 解約差損益金	△ 16,832,840
(H) 合計(E + F + G)	84,500,028
(I) 収益分配金	△ 8,919,360
次期繰越損益金(H + I)	75,580,668

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注3) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注4) 収益分配金の計算過程は5ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	35円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金については、20.315％（所得税15％、復興特別所得税0.315％および地方税5％）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

部分為替ヘッジあり

設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額				受 益 者 利 回 率	公 社 債 組 入 比 率	債券先物 比 率	元 本 残 存 率
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 額	期 中 騰 落 率				
設 定 (2016年12月30日)	円 10,000	円 —	円 —	% —	% —	% —	% —	% 100.0
1 期末 (2017年 3 月10日)	9,941	35	△ 24	△0.2	△1.2	94.3	—	100.0
2 期末 (2017年 9 月11日)	10,119	120	298	3.0	3.9	94.2	—	100.0
3 期末 (2018年 3 月12日)	9,659	100	△360	△3.6	△0.7	92.9	—	29.4
4 期末 (2018年 9 月10日)	9,616	85	42	0.4	△0.3	98.3	—	29.4
5 期末 (2019年 3 月11日)	9,723	70	177	1.8	0.6	96.9	—	29.4
6 期末 (2019年 9 月10日)	10,117	70	464	4.8	2.2	96.3	—	29.4

(注1) 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

(注2) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注3) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。

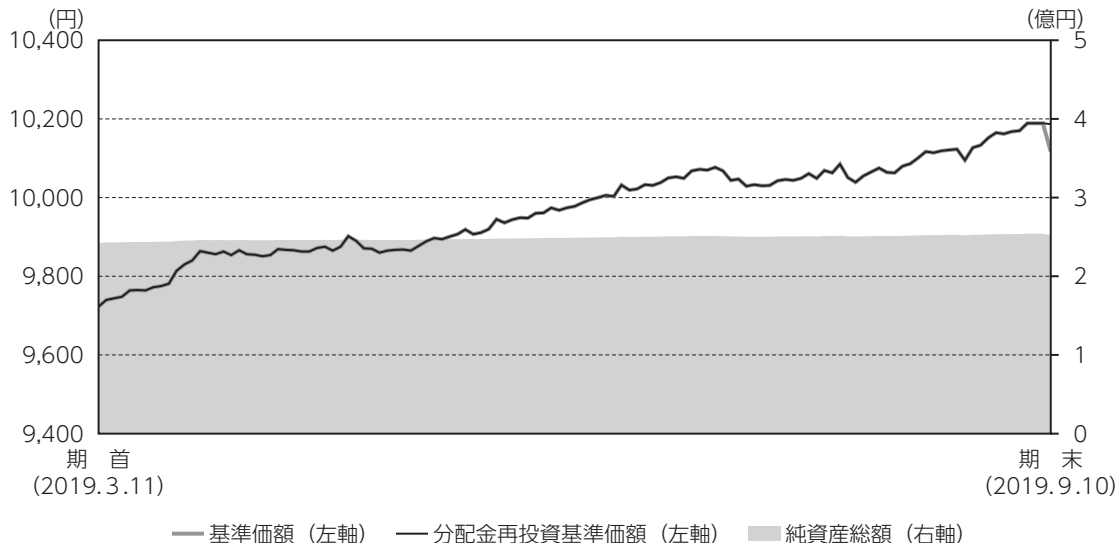
(注4) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。

(注5) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

期 首： 9,723円

期 末：10,117円（分配金70円）

騰落率：4.8%（分配金込み）

基準価額の主な変動要因

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12」の受益証券を通じて、主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資し、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行った結果、円高米ドル安はマイナス要因となりましたが、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

年 月 日	基 準	価 額	公 社 債 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率		
(期首) 2019年3月11日	円	%	%	%
	9,723	－	96.9	－
3月末	9,864	1.5	94.7	－
4月末	9,890	1.7	96.9	－
5月末	9,936	2.2	95.3	－
6月末	10,038	3.2	96.6	－
7月末	10,063	3.5	97.1	－
8月末	10,165	4.5	95.3	－
(期末) 2019年9月10日	10,187	4.8	96.3	－

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

(2019.3.12～2019.9.10)

■米国債券市況

米国債券市場では、国債や社債の金利が低下しました。

当作成期首より、ＦＯＭＣ（米国連邦公開市場委員会）において2019年内は利上げを行わない見通しであると示されたことなどを受けて、国債金利は低下傾向となりました。5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことやＦＲＢ（米国連邦準備制度理事会）の利下げの実施などを背景に、国債金利の低下が続きました。

米ドル建ての社債については、ＦＲＢの緩和的なスタンスなどを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小圧力が強まる展開となりました。

■為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首よりおおむね横ばいで推移しました。2019年5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、円高傾向となりました。8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、さらに円高が進みました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドＳ2016－12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行います。

■ダイワ日本企業外債マザーファンドＳ2016－12

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

ポートフォリオについて

(2019.3.12～2019.9.10)

■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行いました。

■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

分配金について

当作成期の1万口当り分配金（税込み）は70円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■収益分配金の計算過程

計算期間末における純資産額の元本超過額4,652,564円が、経費控除後の配当等収益4,094,865円を超過しているため、純資産額の元本超過額4,652,564円（1万口当り186.50円）を分配対象額として、うち1,746,260円（1万口当り70円）を分配金額としております。



今後の運用方針

■当ファンド

「ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12」の受益証券を高位に組み入れるとともに、為替変動リスクを低減するため、部分為替ヘッジを行います。

■ダイワ日本企業外債マザーファンドS 2016－12

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを軸としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

1 万口当りの費用の明細

項 目	当期 (2019.3.12～2019.9.10)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	27円	0.270%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は9,973円です。
(投 信 会 社)	(16)	(0.162)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(9)	(0.094)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0.013)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売買委託手数料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有価証券取引税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	1	0.010	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	28	0.280	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

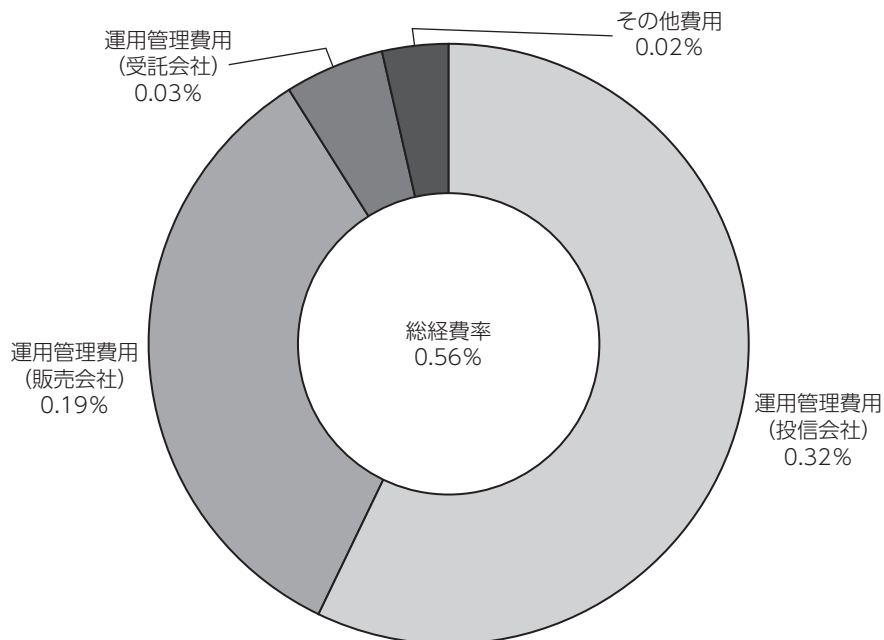
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.56%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

■売買および取引の状況
親投資信託受益証券の設定、解約状況

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千□	千円	千□	千円
ダイワ日本企業外債マザー ファンドS2016-12	4,952	5,200	1,701	1,800

(注) 単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表
親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千□	千□	千円
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	233,926	237,178	252,571

(注) 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12	252,571	97.8
コール・ローン等、その他	5,770	2.2
投資信託財産総額	258,341	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.45円です。

(注3) ダイワ日本企業外債マザーファンドS2016-12において、当期末における外貨建純資産（2,822,782千円）の投資信託財産総額（2,891,213千円）に対する比率は、97.6%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	422,659,378円
コール・ローン等	5,770,122
ダイワ日本企業外債マザー ファンドS2016-12(評価額)	252,571,069
未収入金	164,318,187
(B) 負債	170,287,303
未払金	167,859,540
未払収益分配金	1,746,260
未払信託報酬	671,336
その他未払費用	10,167
(C) 純資産総額(A－B)	252,372,075
元本	249,465,771
次期繰越損益金	2,906,304
(D) 受益権総口数	249,465,771口
1万口当り基準価額(C／D)	10,117円

*当期末の計算口数当りの純資産額は10,117円です。

■損益の状況

当期 自2019年3月12日 至2019年9月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,020円
支払利息	△ 1,020
(B) 有価証券売買損益	3,163,946
売買益	10,370,918
売買損	△ 7,206,972
(C) 有価証券評価差損益	9,086,758
(D) 信託報酬等	△ 681,654
(E) 当期損益金(A＋B＋C＋D)	11,568,030
(F) 前期繰越損益金	△ 6,915,466
(G) 合計(E＋F)	4,652,564
(H) 収益分配金	△ 1,746,260
次期繰越損益金(G＋H)	2,906,304

(注1) 有価証券評価差損益は、有価証券の期末の評価損益と期首との差額です。

(注2) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注3) 収益分配金の計算過程は14ページをご参照ください。

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ	
1 万 口 当 り 分 配 金 (税 込 み)	70円

分配金の課税上の取扱いについて

- ・ 分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税を選択することもできます。
- ・ 法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・ 税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・ 課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

ダイワ日本企業外債マザーファンドＳ2016－12

運用報告書 第6期（決算日 2019年9月10日）

（作成対象期間 2019年3月12日～2019年9月10日）

ダイワ日本企業外債マザーファンドＳ2016－12の運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

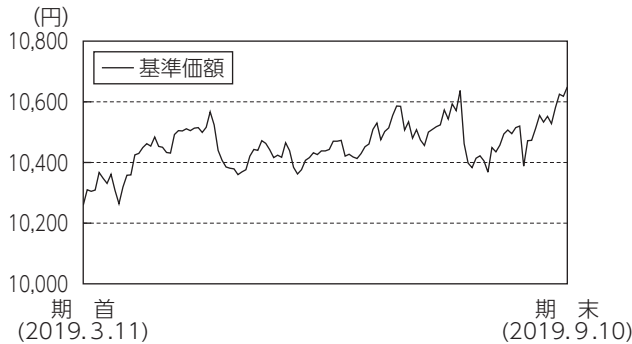
運 用 方 針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主 要 投 資 対 象	米ドル、ユーロおよび豪ドル建ての社債等
株 式 組 入 制 限	純資産総額の10％以下

大和投資信託

Daiwa Asset Management

大和証券投資信託委託株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年 月 日	基 準 価 額		公 社 債 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率		
(期首) 2019年3月11日	10,259	—	97.9	—
3月末	10,425	1.6	95.6	—
4月末	10,524	2.6	97.1	—
5月末	10,439	1.8	96.8	—
6月末	10,461	2.0	97.8	—
7月末	10,571	3.0	97.5	—
8月末	10,555	2.9	95.9	—
(期末) 2019年9月10日	10,649	3.8	96.2	—

(注1) 騰落率は期首比。
 (注2) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）を除きます。
 (注3) 債券先物比率は買建比率－売建比率です。
 (注4) 当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：10,259円 期末：10,649円 騰落率：3.8%

【基準価額の主な変動要因】

主として日系企業が発行する米ドル建ての社債に投資した結果、円高米ドル安はマイナス要因となりましたが、保有債券からの利息収入や社債金利の低下（債券価格の上昇）がプラスに寄与し、基準価額は上昇しました。

◆ 投資環境について

○ 米国債券市況

米国債券市場では、国債や社債の金利が低下しました。

当作成期首より、FOMC（米連邦公開市場委員会）において2019年内は利上げを行わない見通しであると示されたことなどを受けて、国債金利は低下傾向となりました。5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことやFRB（米連邦準備制度理事会）の利下げの実施などを背景に、国債金利の低下が続きました。

米ドル建ての社債については、FRBの緩和的なスタンスなどを背景に、スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は縮小圧力が強まる展開となりました。

○ 為替相場

米ドルは対円で下落しました。

米ドル円為替相場は、当作成期首よりおおむね横ばいで推移しました。2019年5月以降は、米中通商交渉への懸念が高まったことや各国の中央銀行が金融緩和に前向きな姿勢を示したことなどから、円高傾向となりました。8月に入ると、トランプ米国大統領が中国製品に対する関税率を引き上げる方針を示したことなどから市場のリスク回避姿勢が強まり、さらに円高が進みました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを中心としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

◆ ポートフォリオについて

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、流動性や利回り面で投資妙味のある金融セクターを軸とするポートフォリオを維持しました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

《今後の運用方針》

主として日系企業が発行する米ドル建ての債券に投資し、金融セクターを中心としたポートフォリオを維持することにより、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざす方針です。

■ 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

■ 売買および取引の状況

公 社 債

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

		買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
		—	2,227 (—)
	社債券	1,677	5,870 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 社債券には新株予約権付社債券（転換社債券）は含まれておりません。

(注4) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄
公 社 債

(2019年3月12日から2019年9月10日まで)

当			期		
買		付	売		付
銘	柄	金 額	銘	柄	金 額
Takeda Pharmaceutical Co Ltd (日本)		千円 4.4% 2023/11/26 187,675	Dai-ichi Life Insurance Co Ltd/The (日本)		千円 4% 永久債 108,368
			JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT. (日本)		2.125% 2023/10/25 106,953
			Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd (日本)		2.25% 2021/9/7 106,021
			Mitsubishi UFJ Financial Group Inc (日本)		3.85% 2026/3/1 102,681
			Development Bank of Japan (日本)		1.875% 2026/9/1 83,471
			Mizuho Bank Ltd (日本)		2.95% 2022/10/17 76,030
			Fukoku Mutual Life Insurance Co (日本)		5% 永久債 67,857
			Nippon Life Insurance Co (日本)		4.7% 2046/1/20 57,099
			JAPAN BANK FOR INTL. COOP. (日本)		2.25% 2026/11/4 53,710
			Japan Tobacco Inc (日本)		2.8% 2026/4/13 43,088

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。
(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

(1) 外国（外貨建）公社債（通貨別）

作 成 期 区 分	額 面 金 額	当 期 末		期 末		期 末		組 入 比 率
		評 価 額	評 価 額	組 入 比 率	うちＢＢ格 以下組入比率	残 存 期 間	別 組 入 比 率	
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
		千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	24,245	25,879	2,780,765	96.2	—	58.1	34.4	3.7

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。
(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(2) 外国（外貨建）公社債（銘柄別）

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	期 末		償 還 年 月 日
					評 価 額	評 価 額	
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	JAPAN FIN. CORP. MUNI. ENT.	特 殊 債 券	2.1250	1,600	1,613	173,388	2023/10/25
	Mizuho Financial Group Inc	社 債 券	3.4770	1,000	1,055	113,403	2026/04/12
	Meiji Yasuda Life Insurance Co	社 債 券	5.2000	1,200	1,337	143,706	2045/10/20
	Mitsubishi UFJ Financial Group Inc	社 債 券	3.8500	1,600	1,721	184,965	2026/03/01
	Sumitomo Mitsui Financial Group Inc	社 債 券	3.7840	1,500	1,615	173,545	2026/03/09
	Beam Suntory Inc	社 債 券	3.2500	1,045	1,070	115,022	2023/06/15
	Mitsui Sumitomo Insurance Co Ltd	社 債 券	7.0000	500	549	59,044	2072/03/15
	Sumitomo Life Insurance Co	社 債 券	6.5000	1,800	2,041	219,330	2073/09/20
	Dai-ichi Life Insurance Co Ltd/The	社 債 券	5.1000	1,500	1,645	176,802	永久債
	Nippon Life Insurance Co	社 債 券	5.1000	800	877	94,256	2044/10/16
	Fukoku Mutual Life Insurance Co	社 債 券	6.5000	1,000	1,131	121,544	永久債
	Fukoku Mutual Life Insurance Co	社 債 券	5.0000	800	873	93,868	永久債
	Japan Tobacco Inc	社 債 券	2.8000	600	608	65,389	2026/04/13
	ORIX Corp	社 債 券	2.6500	1,000	1,003	107,809	2021/04/13
	ORIX Corp	社 債 券	3.9500	1,000	1,091	117,236	2027/01/19
	Sompo Japan Insurance Inc	社 債 券	5.3250	1,000	1,084	116,531	2073/03/28
	Takeda Pharmaceutical Co Ltd	社 債 券	4.4000	1,600	1,727	185,609	2023/11/26
	Mizuho Bank Ltd	社 債 券	2.9500	1,800	1,837	197,456	2022/10/17
	Mitsubishi UFJ Lease&Finance Co Ltd	社 債 券	2.6520	1,000	1,005	108,092	2022/09/19
	Mitsubishi Corp	社 債 券	3.3750	1,900	1,989	213,760	2024/07/23
合 計	銘 柄 数 額	20銘柄			24,245	25,879	2,780,765

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。
(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2019年9月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	2,780,765	96.2
コール・ローン等、その他	110,447	3.8
投資信託財産総額	2,891,213	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、9月10日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝107.45円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産（2,822,782千円）の投資信託財産総額（2,891,213千円）に対する比率は、97.6%です。

■損益の状況

当期 自2019年3月12日 至2019年9月10日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	62,994,370円
受取利息	63,006,389
支払利息	△ 12,019
(B) 有価証券売買損益	54,611,107
売買益	167,770,714
売買損	△113,159,607
(C) その他費用	△ 187,354
(D) 当期損益金(A + B + C)	117,418,123
(E) 前期繰越損益金	88,011,035
(F) 解約差損益金	△ 30,838,564
(G) 追加信託差損益金	1,561,547
(H) 合計(D + E + F + G)	176,152,141
次期繰越損益金(H)	176,152,141

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2019年9月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,891,213,286円
コール・ローン等	75,412,895
公社債(評価額)	2,780,765,717
未収利息	35,034,674
(B) 負債	166
その他未払費用	166
(C) 純資産総額(A - B)	2,891,213,120
元本	2,715,060,979
次期繰越損益金	176,152,141
(D) 受益権総口数	2,715,060,979口
1万口当り基準価額(C / D)	10,649円

* 期首における元本額は3,395,483,962円、当作成期間中における追加設定元本額は28,638,453円、同解約元本額は709,061,436円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ日本企業外債ファンドS（為替ヘッジあり）2016-12 2,477,882,775円、ダイワ日本企業外債ファンドS（部分為替ヘッジあり）2016-12 237,178,204円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は10,649円です。